

I 第7週の発生動向 (2017/2/13~2017/2/19)

- インフルエンザについては、東地方保健所+青森市保健所管内、五所川原保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内では**警報**が継続しています。弘前保健所管内、三戸地方保健所+八戸市保健所管内では、**注意報**が継続しています。すべての保健所管内で患者報告数が減少しましたが、依然として患者報告数が多い状態が続いていることから、引き続き注意が必要です。
- 咽頭結膜熱については、第5週に全国の定点当たり患者報告数を大きく上回り、第6週には減少しましたが、第7週に再び増加しました。特に、五所川原保健所管内において、定点当たり患者報告数が、前週の0.40から1.60に増加しました。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、全国の定点当たり患者報告数よりは少ないものの、県全体では、第5週から3週連続で増加していることから注意が必要です。
- 感染性胃腸炎については、県全体では、第4週から2週連続で減少した後、再び第6週から2週連続で増加しました。特に、五所川原保健所管内では、2週連続で大幅に増加していることから注意が必要です。

II 第7週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	372	28.62	183	12.20	287	19.13	127	18.14	278	30.89	255	42.50	1502	23.11	-460
小児科	RSウイルス感染症					4	0.40							4	0.10	-4
	咽頭結膜熱	2	0.25	1	0.11	3	0.30	8	1.60			3	0.75	17	0.40	9
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	1.63	37	4.11	25	2.50	5	1.00	5	0.83	3	0.75	88	2.10	19
	感染性胃腸炎	45	5.63	24	2.67	52	5.20	61	12.20	14	2.33	6	1.50	202	4.81	20
	水痘	4	0.50							3	0.50	1	0.25	8	0.19	1
	手足口病					7	0.70							7	0.17	-3
	伝染性紅斑															-4
	突発性発しん	2	0.25	1	0.11	8	0.80			2	0.33	3	0.75	16	0.38	-2
	百日咳	1	0.13											1	0.02	1
	ヘルパンギーナ					2	0.20	2	0.40					4	0.10	1
流行性耳下腺炎	3	0.38	1	0.11			1	0.20	1	0.17	3	0.75	9	0.21	2	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50											1	0.09	-4
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00					6	6.00	7	1.17	5
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

E型肝炎 (四類全数把握疾患)

E型肝炎は、E型肝炎ウイルス (hepatitis E virus, HEV) の感染によって引き起こされる急性肝炎です。平均6週間の潜伏期間の後に、発熱、悪心・腹痛や黄疸などが現れます。大半の症例では、安静にすることにより治癒しますが、まれに劇症化する場合もあり、妊婦が発症すると劇症化する率が高いと言われています。

サーベイランスの感度の向上等により、全国の患者報告数は増加傾向にあり、2016年には、2012年の約3倍の354人の患者が報告されました。青森県内では、昨年までの最近5年間では、2016年の患者報告数(5人)が最も多くなりました(図)。2017年は、第7週現在で既に2人の患者が報告されており、今後の動向に注意が必要です。

HEVの感染経路は、主に経口感染です。豚レバーを含む豚肉やシカ、イノシシなどの野生動物の肉(内臓を含む)は、生で食わず、中心部まで火が通るよう十分に加熱して食べましょう。

E型肝炎は、感染後の潜伏期間が長く、発症前から便中にウイルスが排せつされているため、無症状の感染者がHEVを伝播させる危険がありますので注意が必要です。

○ 詳しくはこちらをご覧ください。☞ [厚生労働省\(E型肝炎Q&A\)](#)

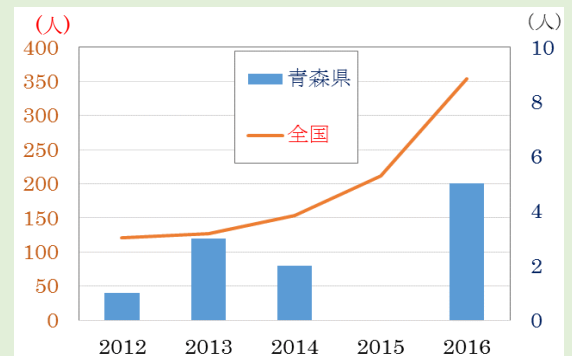


図 E型肝炎患者報告数

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市5人、弘前2人、上十三2人 (2017年計:46人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：上十三1人、むつ1人 (2017年計:9人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・無菌性髄膜炎患者(髄液、1/4)・・・コクサッキーウイルス B5型：青森市1人
- ・その他患者(直腸ぬぐい液、12/24)・・・コクサッキーウイルス B5型：三戸1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2016年第42週～2017年第7週)

- ・第7週の患者報告数は1502人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1456人【A型：1446人、B型：10人】でした。

保健所管内別報告数 (人)

保健所名	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
東地方+青森市	0	0	0	0	0	0	4	11	18	23	24	72	99	193	244	370	435	372
弘前			1		4		3	6	12	11	37	63	128	211	370	336	290	183
三戸地方+八戸市			9	3	7	2	8	7	10	12	55	45	74	176	363	412	384	287
五所川原			4	1	1	3	2	17	55	51	115	90	143	138	143	160	223	127
上十三				2	1	8	35	30	47	39	74	149	164	229	343	330	346	278
むつ					1	3	1	1	2		41	47	35	81	189	335	284	255
合計	0	0	14	6	14	16	53	72	144	136	346	466	643	1028	1652	1943	1962	1502

A型 (迅速診断キットによる型別) (人)

保健所名	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
東地方+青森市	0	0	0	0	0	0	4	10	18	22	24	68	94	186	232	365	427	362
弘前			1		4		3	6	12	11	37	63	127	211	370	336	289	183
三戸地方+八戸市			9	3	7	2	8	7	10	12	54	44	73	168	333	362	364	268
五所川原			4	1	1	3	2	16	55	51	115	89	143	138	143	160	223	127
上十三				2	1	8	35	29	45	37	74	148	158	206	325	311	326	251
むつ					1	3	1	1	2		39	47	34	81	189	334	282	255
合計	0	0	14	6	14	16	53	69	142	133	343	459	629	990	1592	1868	1911	1446

B型 (迅速診断キットによる型別) (人)

保健所名	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
東地方+青森市								1		1		2		3	1	1	1	
弘前																	1	
三戸地方+八戸市											1		1	5	7	20	5	5
五所川原												1						
上十三								1				1	1	6	1	3	3	5
むつ											2		1			1	2	
合計	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	4	3	14	9	25	12	10

年齢区別(人)

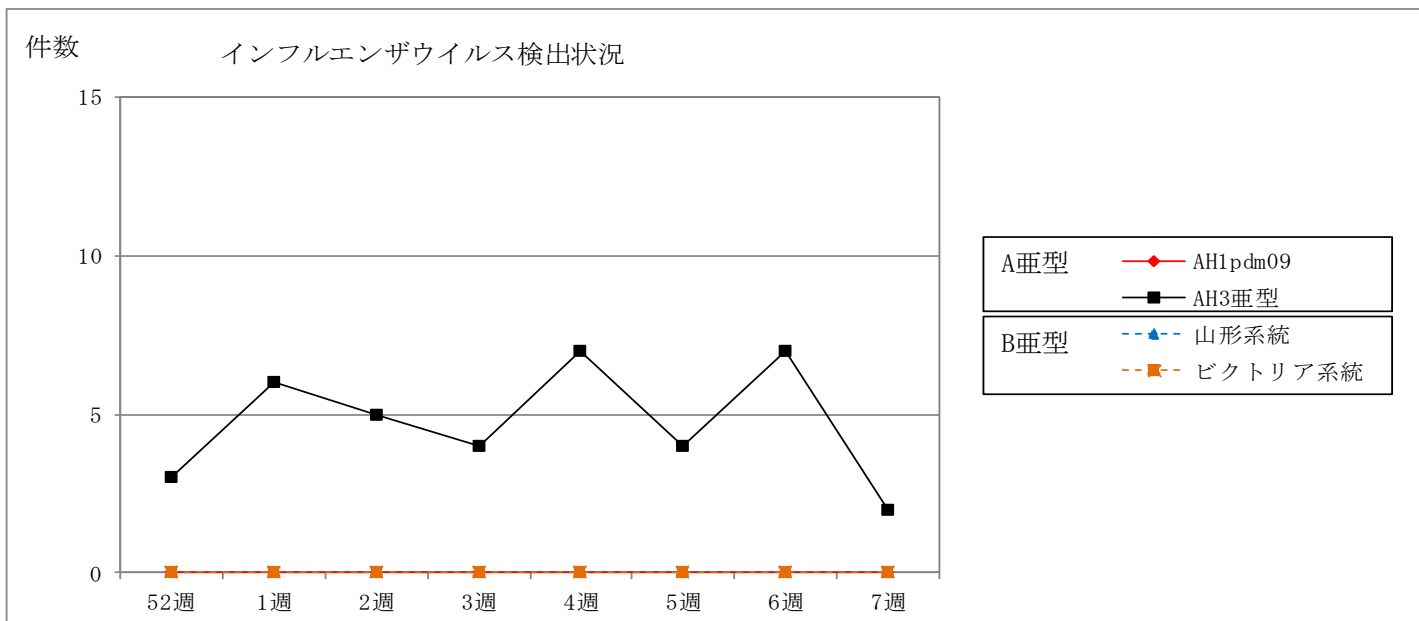
年齢	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7
～5ヶ月										1	2	2	2	4	5	6	4	3
～11ヶ月										2		7	6	13	9	15	15	18
1歳						1		1	1	2	5	6	18	35	42	62	64	49
2歳			3					4	3	4	6	14	20	27	39	46	87	59
3歳			1	1			2	4	8	7	7	11	21	51	53	77	99	73
4歳			1				1	3	1	3	3	7	25	36	65	83	81	80
5歳					1			1	5	3	14	13	22	40	77	68	83	69
6歳			3			1	2	5	7	2	8	8	23	42	47	92	84	82
7歳					1		4		5		4	13	11	35	78	83	98	68
8歳				1	1	1	2		5	4	9	6	8	38	80	93	94	83
9歳					1	1	5	2	5	5	7	6	9	46	85	96	95	80
10～14歳				1	1	5	10	18	32	24	57	32	49	157	428	475	431	257
15～19歳					4	1	6	8	35	13	29	32	40	97	162	152	115	75
20～29歳			3			1	3	1	7	8	44	58	67	59	56	67	93	81
30～39歳				1	1	1	2	5	8	11	30	61	64	88	104	117	108	90
40～49歳			1	1	1	1	5	13	4	14	29	50	53	62	90	124	123	82
50～59歳					1	1	5	4	8	11	23	44	59	58	71	78	95	86
60～69歳			1		2	1	5	2	5	10	23	44	50	46	55	90	78	72
70～79歳									3	4	20	23	48	38	51	66	49	41
80歳以上			1	1		1	1	1	2	8	26	29	48	56	55	53	66	54

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2016	2017							直近5週間 合計	2016/2017 シーズン合 計
		52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週		
提出検体数		4	7	5	5	8	6	10	4 (2)	33 (2)	56 (2)
A 亜型	AH1pdm09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	うちタミフル耐性株										0
	AH3亜型	3	6	5	4	7	4	7	2	24	39
B 亜型	山形系統	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ビクトリア系統	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		3	6	5	4	7	4	7	2	24	40

注1) 2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第4週～2017年第7週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
4	H29.1.23 ~ H29.1.29	腸管出血性大腸菌 感染症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人				
5	H29.1.30 ~ H29.2.5	後天性免疫不全症 候群1人	梅毒1人	梅毒2人			
6	H29.2.6 ~ H29.2.12	E型肝炎1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症 1人	梅毒1人				
7	H29.2.13 ~ H29.2.19					梅毒1人	梅毒1人

VIII 結核(二類全数把握疾患)（2017年第4週～2017年第7週） (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
4	H29.1.23 ~ H29.1.29	5			1	1	
5	H29.1.30 ~ H29.2.5	1	1		2		1
6	H29.2.6 ~ H29.2.12	2	2	1	1	2	
7	H29.2.13 ~ H29.2.19	5	2			2	

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第6週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	ジカウイルス感染症	チクングニア熱	つつが虫病
累積報告数	2185	26	72	2	34	18	3	1	1	34

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	25	2	1	5	103	1	121	28	150	98

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	22	59	133	4	48	4	428	23	456	15

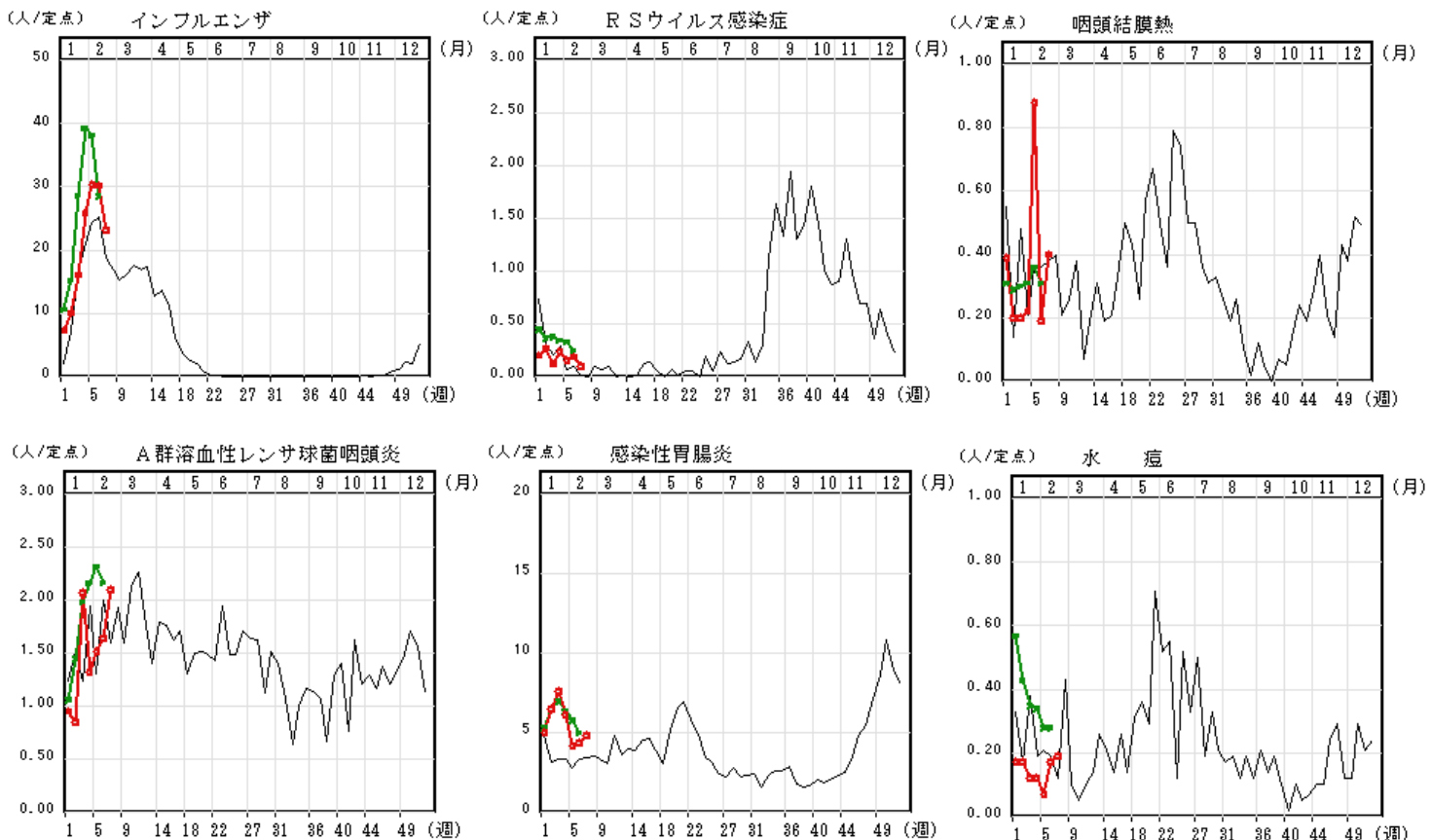
分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	3	13	7	26	3

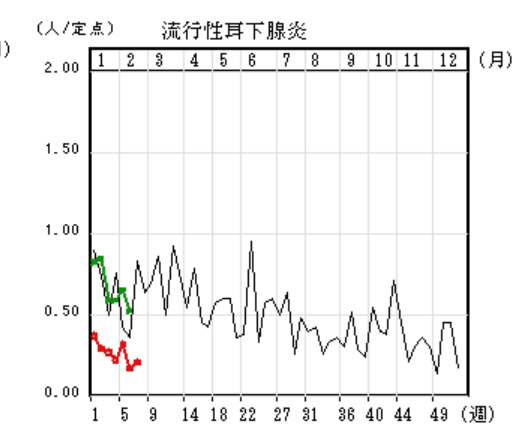
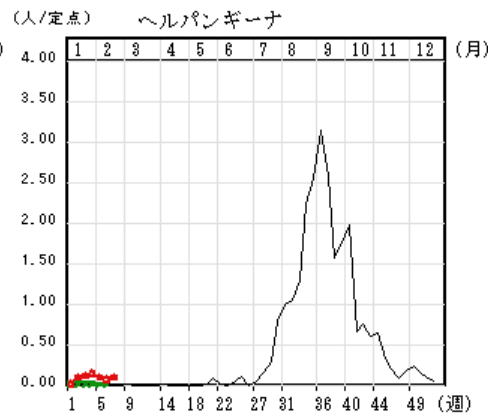
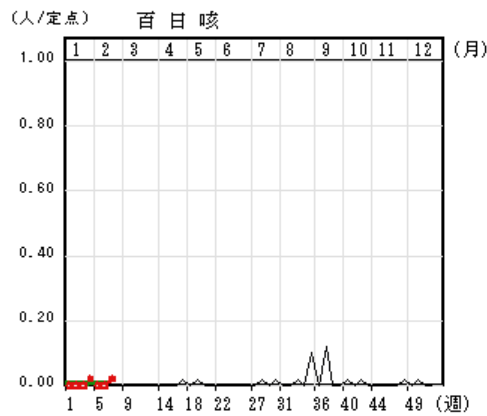
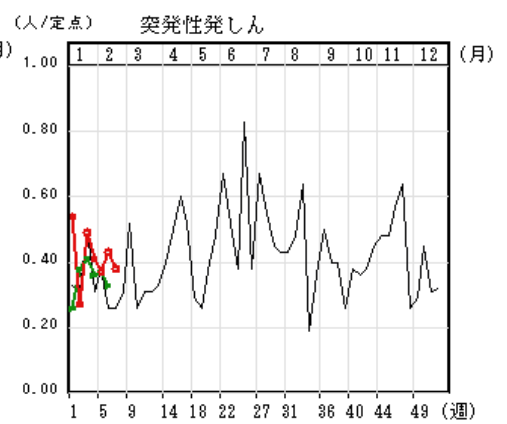
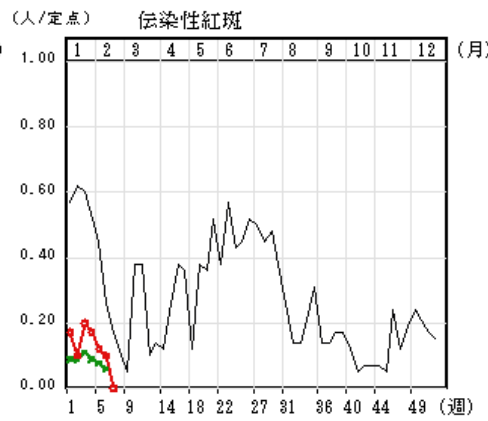
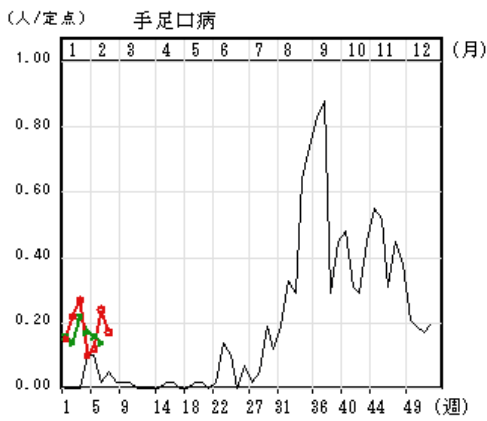
青森県（2017年第7週累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	46	1	2	1	1	2	1	1	1	9

X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第7週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国

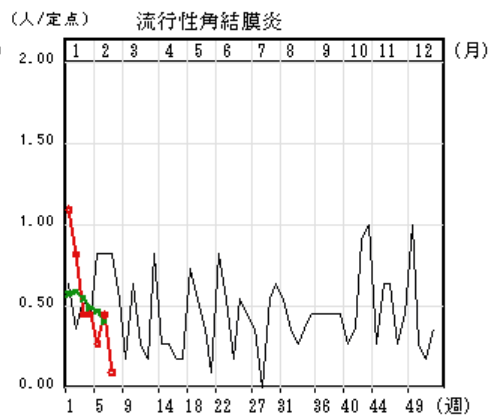
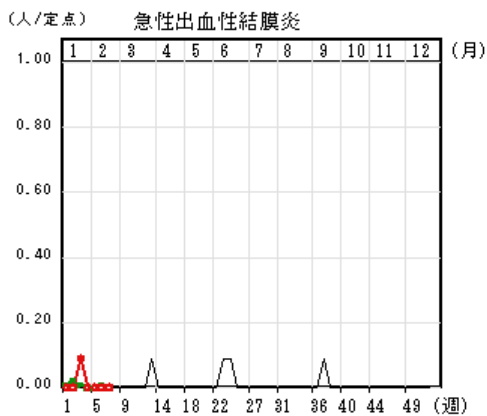




XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第7週、ただし全国は前週)

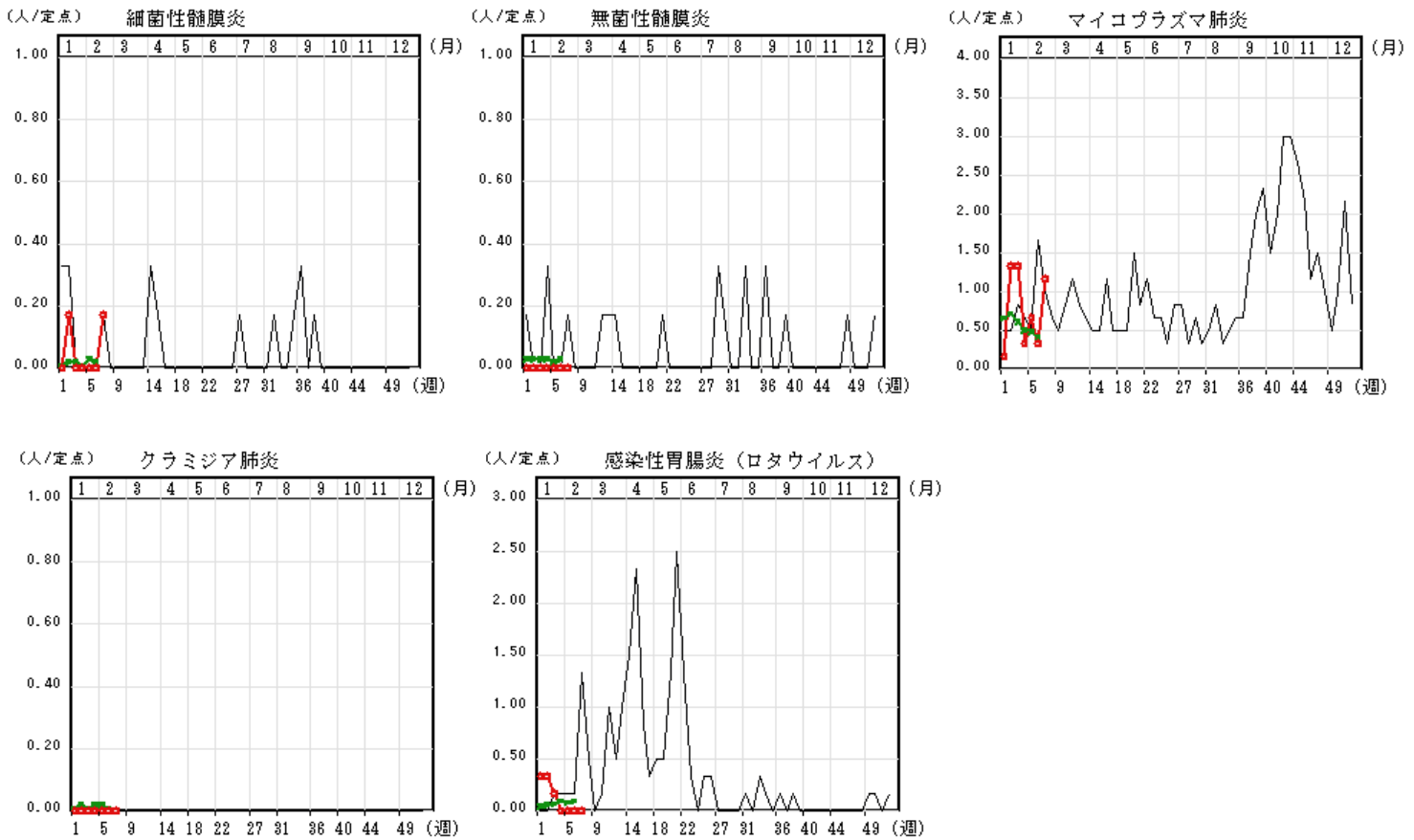
グラフの説明 **○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、**

×—×は2017年全国



XII 基幹定点把握疾患週別推移（2017年第7週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第7週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第7週	児童・婦人関係施設等	3	三戸地方保健所

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月				2月			計 (施設別)
		1-4週	5週	6週	7週	1月	2月	3月	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0				1
	発症者数	0	12	0	0				12
児童・婦人関係施設等	件数	1	1	0	1				3
	発症者数	13	45	0	3				61
障害関係施設	件数	0	0	1	0				1
	発症者数	0	0	43	0				43
その他施設	件数	0	0	0	0				0
	発症者数	0	0	0	0				0
計(月別)	件数	1	2	1	1				5
	発症者数	13	57	43	3				116